

基礎データ

- 【人口】 1,453人 (H20.11.30現在)
- 【世帯】 379世帯 (H20.11.30現在)
- 【面積】 約386ha
- 【公共施設】 南部保育園・田原南部小学校
- 【史跡・文化財】 黒河湿地植物群落・籠池古墳・宮西遺跡・雁合遺跡・木造観世音立像(長興寺)
- 【主な産業】 農業

●校区自己紹介⑥

田原南部

●平成19年3月に開通した国道259号

校区の祖先を探る

田原南部校区は南北を山に囲まれ、海に接していない一校区一自治会の、小規模でまとまりのある校区です。人々の心は温和で、人情深いといわれています。

校区内には、宮西遺跡・雁合遺跡・佐藤遺跡・黒河遺跡があり、旧石器時代から人が生活していたと思われま



●宮西遺跡の発掘説明会

私たちの祖先は1万6千年前からこの地に住んでいたわけですから、多くの人が血のつながりのある親戚仲間といえるでしょう。



●市民館まつりでは、校区総代(左)と代議員が地元の風刺漫才を披露して親睦を深めました。

巨木・名木2選

大久保神社境内には、「たはらの巨木・名木100選」に選ばれた巨木があります。どちらも市の天然記念物となっています。

《ヤマモモ》

▷幹周 605cm

▷高さ 16.5m

▷樹齢 推定300年

*田原市随一の巨木で、生命力あふれる恐竜のような姿です。



●ヤマモモ

●スタジイ

《スタジイ》

▷幹周 401cm

▷高さ 14.5m

▷樹齢 推定200年

*神社の神木となっている巨木で、四方に伸び伸びと広がっています。

毎年、大久保神社の大祭(10月第3日曜日)には、地元童興会の笛や太鼓に合わせ、伝統のこども七福神踊りが奉納されています。

造成が進む住宅団地

本年度から本格的に田原市が造成している住宅団地は、総数85戸(50坪・70坪・120坪の面積区分を予定)の大型団地で、平成23年に販売が予定されています。

●造成風景(背後は田原南部小学校)



長興寺

建治2年(1276年)に開かれ、鎌倉時代宇多天皇の祈願所であった由緒ある寺です。田原城を築いた戸田氏の菩提寺であり、藤原期の木造観世音立像(県指定文化財)や、室町時代の領主・一色七郎の墓があることでも有名です。

(文:田原南部校区)



●長興寺山門